

江田島市



# 社協だより

## 第27号

2018年（平成30年）10月1日発行  
発行／社会福祉法人  
江田島市社会福祉協議会  
〒737-2302  
広島県江田島市能美町鹿川12060番地  
（能美福祉センター内）  
TEL (0823)40-2501 FAX (0823)40-2502  
メールアドレス info@etajima-syakyo.org  
ホームページ http://etajima-syakyo.org/

災害ボランティア活動にご協力ありがとうございました！



平成30年7月豪雨で、被害に遭われたみなさまには、心よりお見舞い申し上げます。

今回の災害を受け、江田島市社協では7月10日(火)～8月10日(金)の32日間「**江田島市被災者生活サポートボランティアセンター（災害ボランティアセンター）**」を立ち上げ、被災された方の困りごとを受け付け、災害ボランティアなどによる、生活復旧支援を行いました。

（※詳細はP.2～P.3掲載）

## ～社協だより第27号もくじ～

- ◆江田島市被災者生活サポート  
ボランティアセンター活動報告…………… 2～3 P
- ◆弁護士による無料法律相談会を開催…………… 4 P
- ◆H29年度事業報告 …………… 5 P
- ◆H30年度事業計画  
組織理念・行動指針… 6～7 P
- ◆香典返し・寄附のお礼  
賛助会費のお願い  
お知らせ…………… 8 P



社協だよりは、皆様からの社協会費や寄付金によってつくりられています。ご協力ありがとうございます。

# 「江田島市被災者生活サポートボランティアセンター」活動報告

## 7/7 災害発生～



7/3（火）～7/6（金）（まで降り続いた大雨の影響で、江田島市内各所で床上浸水、土砂崩れ、道路の崩落、断水、停電が発生し甚大な被害を受けました。

江田島市社協では、7/7（土）から現地調査を実施し、被害の状況を把握したうえで、被災された皆さんへボランティア支援を調整すべく、「江田島市被災者生活サポートボランティアセンター」（災害ボランティアセンター）の設置を決定しました。



被災直後の江田島市内の様子(家屋へ大量の土砂の流入や、床上・床下浸水が各地で発生)

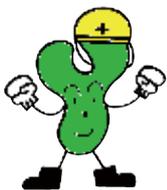
## 7/10～被災された皆さんへのボランティア支援スタート



7/10（火）から「江田島市被災者生活サポートボランティアセンター」を能美保健センターに設置、7/20（金）からは江田島市スポーツセンターに拠点を移し、8/10（金）まで32日間、被災された皆さんの困りごと（給水所まで水を取りに行けない、家屋内に流入した土砂を撤去したい、被災した家財等を運び出したい等）を受け付け、災害ボランティア等による生活復旧に向けた支援へと繋げていきました。

### ◆センターの流れ

- ・9:00 受付
- ↓
- ・10:00 活動開始
- ↓
- ・14:00 活動終了
- ↓
- ・15:00 活動報告
- ↓
- 終了



①受付でボランティア保険の加入等の確認



②活動の内容や注意点等を説明



③実際に現地で活動



④資材洗い、活動報告で終了

## 沢山のボランティア支援ありがとうございました

江田島市で活動された災害ボランティア活動者は、延べ 2,623人(32日間)となり、給水所まで水を取りに行けない方への「配水」や、床上・床下浸水や土砂の流入被害を受けた方への「土砂撤去、家財の運び出し」などの支援をしてくださいました。

今年の夏は記録的な猛暑となり、かなり過酷な環境でしたが、江田島市内を始め、広島市内、県外、遠くは海外からもボランティアさんが駆けつけてくださり、汗をかき泥だらけになりながらも「困ったときはお互い様だから」と献身的に協力してくださいました。

また、実際に現地で活動する以外にも、土嚢袋や飲料水など支援物資を提供して下さった皆さん、受付や電話対応や送迎など災害ボランティアセンターの運営をお手伝いして下さった皆さんなど、多方面にわたり支援をいただきました。

この場をお借りして厚くお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

(※広報誌などに掲載している写真の多くは、カメラボランティアの神戸志保さんにご提供いただきました)



水を含んだ土砂は重く体力を奪います



床下に溜まった土砂を協力して撤去しました



重い土嚢袋はリレー方式で運びます



地元の中高生も協力してくださいました



石川県から「バス」で駆けつけてくださいました



「炊き出し」支援も非常に助かりました

## 災害ボランティアセンターで対応した件数

- 配水活動・・・配達回数 405回(対象者185名)
- 土砂撤去等・・・活動回数 308件(162カ所)

総件数 713件

## これからも、支援は継続していきます！



皆様の協力のおかげで、8/10にセンターは閉所しましたが、今後も支援は継続して、社協のボランティアセンター(えがおえたじま応援センター)へ引き継いでいきますので、よろしくお願いいたします。

支援が必要な方は **0823-40-2210**  
(江田島市社協 地域福祉課)へご連絡下さい

# 弁護士による 無料法律相談会を開催！！

相続・遺言・離婚・借金・消費者

トラブル・成年後見など

あなたがお悩みの法律問題に

無料法律相談会で応じます！！



## 日時

平成30年10月13日(土)

・13:00~16:00まで

・相談時間：1組30分以内

## 会場

(社福)江田島市社会福祉協議会

住所:江田島市能美町鹿川2060番地

## 申し込み先

(社福)江田島市社会福祉協議会  
権利擁護センターえたじま

電話：(0823)40-2501

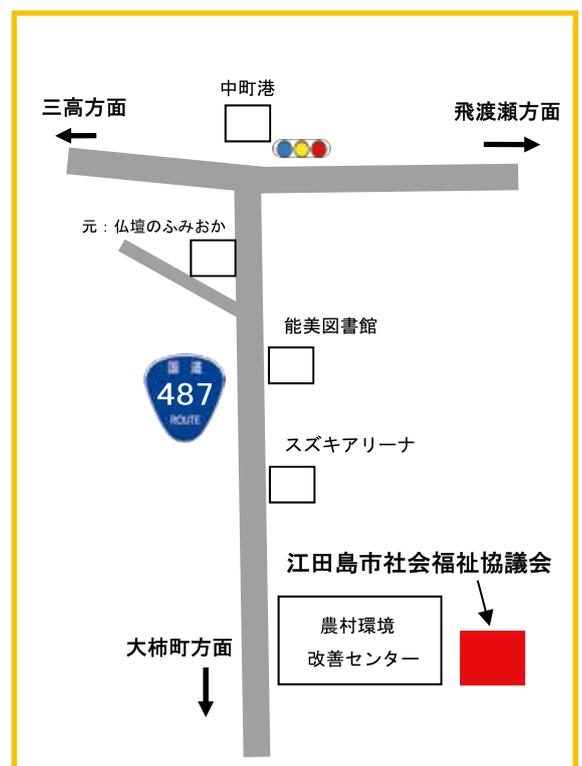
担当：澤田、田中(定員になり次第締め切り)

## 弁護士

蓮見 和章 弁護士法人リーガルジャパン

西田 小百合 カメラア法律事務所

主催：(社福)江田島市社会福祉協議会



# 平成29年度事業報告と決算が

## 5月30日の理事会、6月15日の

### 評議員会で承認されました。

## 事業報告の概要

平成29年度は、改正社会福祉法が施行され、社会福祉法人にとっては大きな変革の一年となりました。本会においても新しい体制により地域共生社会の実現に向けて、様々な取組を推進してきました。

また、第二次地域福祉活動計画の5年間の最終年度を迎えたため、その振り返りをすると共に、平成30年度から2年間の第三次地域福祉活動計画を策定しました。

生活福祉事業では、生活困窮者の支援を中心に、居宅介護支援事業所、障害者生活支援センター等と連携し総合相談体制の充実に努めました。

在宅福祉サービス事業では、利用者の自立支援に配慮し、利用者本位のサービスに努め、通所介護事業所を中心とした介護保険サービスについては利用者が増加しましたが、障害者自立支援サービスについては、他のサービスの増加等の影響を受け利用者が減少しました。

その他の各事業においても精力的に取組を行ってきました。

法人運営の取組としては「魅力ある福祉・介護の職場づくり」に向け、職員自らの考えを盛り込んだ「江田島市社協組織理念・職員行動指針」を策定しました。地域福祉事業では、新たに地域包括ケアシステムの構築に向けた取組として、江田島市から「生活支援体制整備事業」を受託し、生活支援コーディネーターを配置し、小地域の互助を高め、住民主体のサービスが活性化されるよう、地域全体で高齢者の生活を支える体制づくりを進めると共に、既存の見守りネットワーク・買い物支援事業についても積極的に取り組ましました。また、開所して2年目となった無料職業紹介所についても、利用者との対話を大切にし、きめ細やか



## 一般会計資金収支計算書

単位：千円

科 目	予算額	決算額
会費収入	2,348	1,984
寄付金収入	800	1,677
経常経費補助金収入	43,398	43,491
受託金収入	57,644	50,816
貸付事業収入	3,000	1,209
事業収入	7,785	9,230
介護保険収入	281,356	288,153
( 居宅介護支援事業 )	( 53,846 )	( 56,742 )
( 訪問介護事業 )	( 47,543 )	( 47,995 )
( 通所介護事業 )	( 99,392 )	( 119,001 )
( 福祉用具貸与事業 )	( 38,812 )	( 39,659 )
( 地域包括支援センター事業 )	( 10,140 )	( 9,672 )
就労支援事業収入	11,200	9,150
障害者福祉サービス等事業収入	53,312	54,105
受取利息配当金収入	133	64
その他の収入	2,221	2,271
事業活動収入計	463,197	462,150
施設整備等補助金収入	0	0
施設整備等収入計	0	0
積立資産取崩収入	0	0
拠点区分・サービス区分間繰入金収入	26,869	31,965
その他の活動による収入	2,726	2,724
その他の活動収入計	29,595	34,689
当期収入計	492,792	496,839
前期末支払資金残高	181,925	181,926
合 計	674,717	678,765

科 目	予算額	決算額
人件費支出	342,313	342,009
事業費支出	46,167	45,663
事務費支出	60,752	54,599
就労支援事業支出	11,200	9,620
貸付事業支出	3,000	1,600
助成金支出	7,484	6,660
負担金支出	50	47
その他の支出	131	131
事業活動支出計	471,097	460,329
固定資産取得支出	13,947	12,916
ファイナンス・リース債務の返済支出	872	870
施設整備等支出計	14,819	13,786
基金積立資産支出	27	2
積立資産支出	7	3
拠点区分・サービス区分繰入金支出	31,972	31,965
その他の活動による支出	2,749	2,743
その他の活動支出計	34,755	34,713
予備費支出	266	0
当期支出計	520,937	508,828
当期末支払資金残高	153,780	169,937
合 計	674,717	678,765

# 平成30年度事業計画と予算が

# 3月19日の理事会で同意、3月29日の 評議員会で議決されました。

## 事業計画の概要

### 基本方針

我が国の総人口は、2006年をピークに減少に転じ、2025年においては約4人に1人が高齢者となることが見込まれています。江田島市においても、人口減少・少子高齢化が急速に進む中、支援を必要とする高齢者等が増加すると共に、引きこもりや社会的孤立、子供の貧困といった制度の狭間の福祉課題も複雑化、多様化しています。

江田島市協会は、これらの問題に取り組むため、「第三次地域福祉活動計画」を策定し、子供・高齢者・障害者など全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高めあうことができる「地域共生社会」の実現を目指します。

まず、地域福祉事業では、見守りネットワーク・買い物支援事業を始め小地域における住民福祉活動の組織と活動拠点の整備を推進し、多様な生活課題に対応する生活支援サ-

ビスや福祉活動の開発を推進します。また、組織内はもとより行政、各種相談・支援組織、サービス提供組織、地域住民、その他関係者の連携・協働による総合相談体制の構築を推進します。

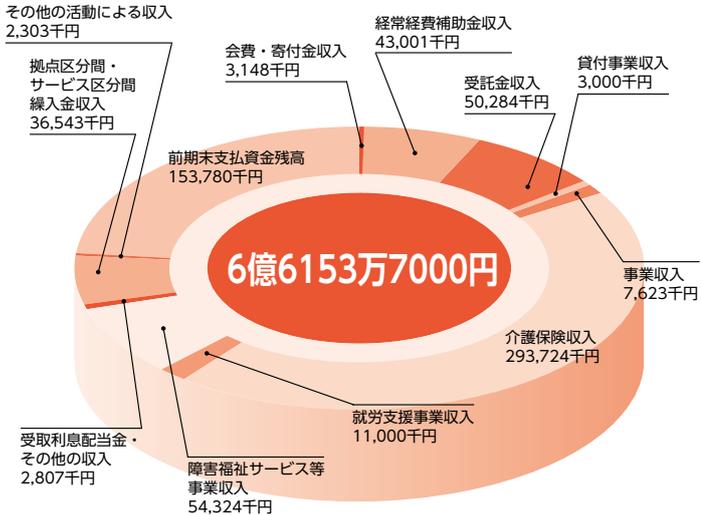
さらに、各種介護保険事業・障がい者支援事業においても、知己の社会資源として、全職員の資質向上を図り、利用者本位のサービスの提供を目指しながら地域福祉の推進に取り組めます。

そして、「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」の実現に向けて行政との連携を強化し、地域住民・協働による地域の福祉ニーズに基づく事業を展開していきます。

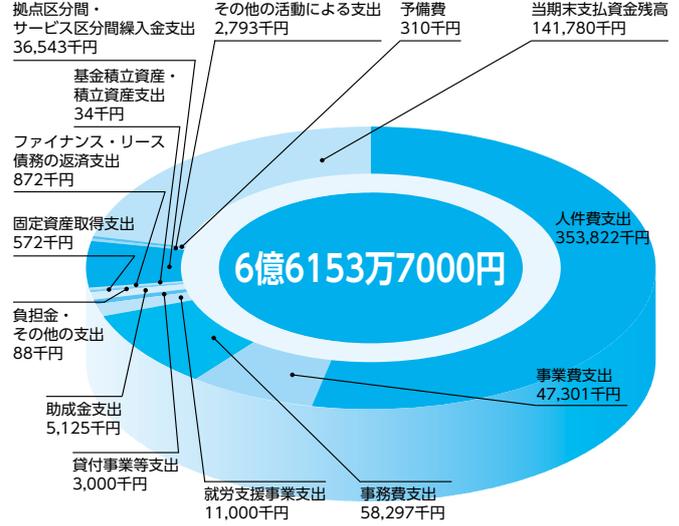
以上を基本方針として、役員一丸となって一層の地域福祉の増進に努めてまいります。

## 平成30年度 予算のあらまし

### 一般会計収入の部



### 一般会計支出の部



会計区分	予算額
<b>社会福祉事業</b>	<b>490,540</b>
法人運営事業拠点	62,968
法人運営事業サービス	55,468
施設管理事業サービス	540
退職金積立事業	6,960
<b>地域福祉事業拠点</b>	<b>52,420</b>
権利擁護センター事業サービス	24,787
ボランティアセンター事業サービス	1,119
地域福祉活動推進事業サービス	6,670
安心生活創造推進事業サービス	1,700
生活支援体制整備事業サービス	7,098
共同募金配分金事業サービス	3,946
無料職業紹介事業サービス	7,100

会計区分	予算額
<b>在宅福祉事業拠点</b>	<b>375,152</b>
障がい者生活支援センター事業サービス	19,196
自立支援センター事業サービス	79,583
介護保険通所介護事業サービス	190,967
障がい者日中一時支援事業サービス	378
介護保険訪問介護事業サービス	58,876
障がい者居宅介護事業サービス	8,652
生活困窮者自立支援事業サービス	10,000
資金貸付事業サービス	7,000
生活福祉資金貸付事務サービス	500
<b>公益事業</b>	<b>170,997</b>
居宅介護支援事業サービス	89,600
福祉用具貸与事業サービス	44,243
地域包括支援センター事業サービス	37,154
<b>合計</b>	<b>661,537</b>

単位：千円

## 具体的な事業

### 1 「つながり」を大切にしている地域福祉活動の推進

- 安心生活創造推進事業
- 【江田島市買物支援事業「GO!GO!えたじまーと」】
  - えがおえたじま応援センター
  - ふれあい・いきいきサロン事業
  - しおかぜネット
  - 被災者生活サーポートボラネット事業
  - 生活支援体制整備事業（※市委託事業）
  - 無料職業紹介事業

### 2 社協の特性を生かした利用者本位の在宅福祉サービスの充実

- 高齢者介護サービス事業
- 居宅介護支援事業
- 訪問介護事業
- 通所介護事業
- 福祉用具貸与事業・特定福祉用具販売事業
- 地域包括支援センター事業（※市委託事業）
- 障がい者支援事業
- 自立支援センター「あおぞら」  
（就労継続支援B型・就労移行支援【あおぞら】）
- 生活介護【ゆうゆう】
- 障がい者居宅介護事業

### 3 福祉ニーズを把握し総合的な支援体制の充実

- 江田島市老人施設等連絡会の事務局としての機能強化
- 心配ごと相談事業
- 障がい者生活支援センター事業（サービス利用計画の作成含む）
- 権利擁護センター事業（権利擁護センターえたじま）
- 福祉サービス利用援助事業「かけはし」
- 法人による成年後見の受任
- 生活困窮者自立支援法の総合相談事業（くらしサポートセンターえたじま）



### 4 法令を遵守し効率のよい自立した経営を目指す

- 事務局体制・各事業の効率的な運営を推進
- 人材育成による質の高いサービス提供体制の実現
- 社会福祉法改正に伴う法人組織の見直し
- 地域福祉ニーズに基づく先駆的な取り組みへのたゆみない努力
- 広報紙等により社協事業のPR活動を積極的に実施するとともに、住民に広く情報開示を行う

### 5 社協事業を広く周知し住民の賛同を得る活動の推進

- 貸付事業の実施
- 共同募金活動
- 福祉人材育成のための教育実習生の受入れ
- その他福祉を目的とする事業

## 「江田島市社協組織理念・職員行動指針」を策定しました

### ～江田島市社協組織理念～

私たちは、職員一人ひとりが地域の一員であることの自覚を持ち、江田島市民、関係団体・組織の皆様とつながりながら、住民同士の助け合い活動を応援すると共に、各種福祉サービスを提供していくことで、江田島市で誰もが、その人らしく幸せに生活することのできるまちづくりを目指します。

### ～職員行動指針～

- (1) 私たちは、より良い支援体制をつくるために、自身の心と体の健康を大切にすると共に、同じ仕事に携わる仲間も大切にします。
- (2) 私たちは、信頼される社協であり続けるために、皆さんの声に「耳を傾け」「共に悩み」「共に考える」ことで、市民一人ひとりの生活に寄り添います。
- (3) 私たちは、多様なニーズに対応できるように、社協全体を一つのチームとして捉え、職種間連携を心がけて支援にあたります。
- (4) 私たちは、支援の輪を広げるために、人・制度・機関を繋げるパイプ役となります。
- (5) 私たちは、質の高いサービスを提供するために、マナーや法令を遵守し、積極的にスキルアップに努めます。

